

雪印のお奨めする バラ苗

'78 年新花 8 種

ビンゴ	朱赤
スーザンハンブシャ	濃桃色
アリゾナ	オレンジ柿色
華 巖	緋赤
乙 姫	サーモン朱色
シュバイツァーゴールド	濃黄色
ロダン	濃桃覆輪
シャルルドゴール	藤紫色

特選銘花 8 種

サンキング	濃黄色
クローネンパーク	内緋紅外黄複色
サマンサ	ビロード緋紅色
サマーキーン	淡ピンク
バスカリ	象牙白色
ビックレッド	ビロード黒光色
バレンジャ	ブロンズ茶色
ランホーク	濃紅赤色

バラの植え方と手入れ

植える時に大切な三大ポイント

○よい時期 バラの植え時は、地方によって違います。適期に植え付けることが、その後の生長に良い影響をあたえます。道央（札幌中心）では4月下旬～5月中旬です。

○よい場所

日光：よい条件の第一は陽あたりです。一日中陽があたっているのが一番良いのですが無理ならば一日3～4時間は直射日光のあたる場所を選んで下さい。

風：風通しの悪い場所では、虫や病気がひろがりやすいので、なるべく風通しのよい所を選びます。しかしいつでも強風の通り抜けるようなところは木を傷めますので、風除けを考えましょう。

土：バラはどんな所でも花を開きますが特に好む土は、水と肥料を良く保つ河辺のネバ土や赤土などです。火山灰土のような単粒組織の土には堆肥や乾燥牛糞（鶏糞は発酵しやすく根を傷めることがあるので、鶏糞が直接根にふれないように注意して使って下さい）を十分に混ぜて土質を改善するようにすることが上手な栽培の秘訣です。

○正しく植える

- 1 直径40～50 cm、深さ40 cm以上の穴を掘ります。
- 2 堆肥（ピートモス、パーク堆肥等）を4 kg入れ、踏み固め、その上に、元肥として例えば、油粕（魚粕）500 g、骨粉300 g、硫酸加里50 gと、肥料と同量の畑土とを混ぜ合せて入れます。
- 3 その上に更にスコップ3杯位の土をのせ、ま

わりを軽く踏むように押え、中央を山型にもりあげます。1～3は、出来れば、植込みの10日前までに準備しておきたいものです。

- 4 植える時には苗木接目の上部をもち、根を充分に拡げ、接目部分が地面から3 cm位上になるようにします。
- 5 軽く土をかけ、大バケツ2杯分位の水を少しずつ植穴に全部しみわたるようにやります。
- 6 水が引いたら根元の接目がすっきりかくれるように、盛り上げて土をかけます。

手入れ

○剪定 バラの剪定は良い花を楽しむためには絶対に必要な手入れです。これがバラ作りの楽しみでもあります。

剪定の要点は充実した病虫害のない枝を残すこと、樹勢のバランスを考えて、株立数を決め、新しい充実したシュートと、古い主幹とを交替し、常に主幹を3本～5本立（品種によっても異なります）とします。

北海道では春剪定（開花の盛りをすぎたものは上から二番目の五小葉の直上で切り取ります）で初夏から晩秋まで花を次々に楽しめます。

○病虫害防除

病害の主なものには黒点病、ウドンコ病です。これ等には、ダイセン、マンネブダイセン、ペンレート、銅水和剤で予防的に使用するのが防除のコツです。

虫害の主たるものは、アブラムシです。これには、マラソン、スミチオンで防除できますが、オルトラン、アンチオ等の使いやすい薬剤もあります。